

毛利元徳 もとつとむ 舊山口藩主、歌人。天保十年九月（千二百一）月防國主
 れ、明治（千九百十）年十一月（千二百一）日歿（二六三）歳。初名廣封、定廣、
 通稱跡之尉、長門守。號入江元徳、大江廣封、大江朝臣元徳、大江朝
 臣定廣、稚園、江定廣、波文曾能、油の浦人、油井我濱人、海能屋、
 精齋、綠園、其灣坊、芳官園、萩の舎、萩廻花守、蘭園、靜齋等。
 徳山藩主毛利廣鎮ひろちかの十男、嘉永四年萩藩主毛利敬親やぶらの養子となり、幕
 末藩主を補佐。明治二年山口藩主、次、同藩知事、のち第十五國を銀
 行頭取、貴族院議員。十七年公卿。國葬。

著書「芳官園集」全一冊并關美清（佐々木信綱）明治二十年十一月（千八百
 七）年七月（千八百）年。